キャッシュ(一時ファイル)クリア方法について

電子入札システムの操作中にエラーが発生する場合、Internet ExplorerとJavaのキャッ シュ(一時ファイル)に不整合が発生している可能性がありますので、以下の手順でクリアし、 再度、同様の操作を実行願います。

※画面の例はInternet Explorer10、JRE7update15です。

1. Internet Explorerのキャッシュクリア

Step 1

以下のどちらかの手順で、「Internet Explorer」の「インターネットオプション」を開いてください。

A. メニューバーから「ツール」を選択し、「インターネットオプション」を開きます。



B. 歯車アイコンから「インターネットオプション」を開きます。

$(\leftarrow) \ominus \emptyset$		× 🗎 🕆 🔅
ファイル(F) 編集(E) 表示(V)	お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	印刷(P) ・ ファイル(F) ・ 拡大(Z) (100%) ・ セーフティ(S) ・
		スタート メニューにサイトを追加(M) ダウンロードの表示(N) Ctrl+J アドオンの管理(M) F12 開発者ツール(L) ビン留めサイト(G) 互換表示設定(B)
		インターネット オプション(0)
		ハーション旧報(A)
		🔍 100% 🔻 🕌

Step2

「インターネットオプション」の「全般」タブで「削除」ボタンをクリックしてください。





「インターネットー時ファイルおよびWebサイトのファイル」と「クッキーとWebサイト データ」をチェックし、「削除」ボタンをクリックしてください。

注意「お気に入りWebサイトデータを保持する」にチェックが入っている場合、必ず チェックを外してください!

閲覧の履歴の削除			
お気に入り Web サイト データを保持する(R) お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりする。め に使用される、Cookie とインターネットー時ファイルを保持します。			
図 インターネットー時ファイルおよび Web サイトのファイル(T) 情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディア のつビーです。			
 ✓ クッキーと Web サイト データ(O) ◇ 基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイト によってコンピューターに格納されたファイルまたはデータペースです。 			
 届歴(H) 閲覧した Web サイトの一覧です。 			
 グウンロードの履歴(W) ダウンロードしたファイルの一覧です。 			
フォーム データ(F) フォームに入力した情報を保存したものです。			
パスワード(P) 以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるよう			
■ ActiveX フィルターと追跡防止のデータ(K) フィルター処理から除りたれる、Web サイトの一覧と、閲覧した情報を自動的に流出さ			
せている可能性がある Web サイトを検出するために追跡防止が使用するデータです。 問題の履歴の削除についての詳細			
Intresting of the State Stat			



2. Javaのキャッシュ(一時ファイル)クリア



「コントロールパネル」を開き、「Java」をクリックし、「Java コントロールパネル」 を開いてください。





「Javaコントロールパネル」の「一般」タブで「設定」ボタンをクリックしてください。





「一時ファイルの設定」にて「ファイルの削除」ボタンをクリックしてください。

一時ファイルの設定	x
✓ コンピュータに一時ファイルを保持する(K)	
場所	
一時ファイルを保持する場所を選択してください。	
	変更(H)
ディスク領域	
JARファイルの圧縮レベルを選択してくたさい。 一時ファイルを格納するため、ディスク領域を設定します。	<i>1</i> &∪ ▼
	32768 🚔 MB
ファイルの肖川除(D)	デフォルトと戻す(R)
	OK 取消

Step 4

「ファイルおよびアプリケーションの削除」にて全てのチェックボックスにチェックを 入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

